



太宰治「斜陽」執筆
75周年記念映画

宮本菜由 / 安藤政信 水野真紀 奥野壮

田中健 細川直美 白須慶子 三上寛 柏原収史 / 萬田久子 / 柄本明

尾崎右宗 菅田俊 岡部尚 中谷太郎 緒方美穂 三木秀甫 岡元あつこ 栗原沙也加 今泉朋子 白石恭子 藺田正美 光藤えり 山村友乃 野崎小三郎 ジョナゴールド / 春風亭昇太

原作: 太宰治 監督: 近藤明男 脚本: 白坂依志夫 増村保造 近藤明男

プロデューサー: 足立喜之 市川武 今泉朋子 上村正樹 栗原隆一 山村隆昭 音楽: 海沼正利 主題歌: 小椋佳「ラピスラズリの涙」(作詞・作曲・歌)

2022年 / 日本 / 日本語 / カラー / アメリカンビスタ / 5.1ch / 109分 / 配給: 彩プロ ©『鳩のごとく 蛇のごとく 斜陽』製作委員会 撮影支援協力: 青森県 山梨県 五所川原市 つがる市 弘前市 甲府市 山梨市 都留市 三鷹市



新しい価値観の戦後、奔放に生きる男と強く真っ直ぐに生きる女。





増村保造監督と脚本家の白坂依志夫が遺した
草稿脚本を元に近藤監督が脚本を仕上げ
準備から5年の歳月を経て堂々完成!

古い道徳とどこまでも争い(太陽のように生きる)道ならぬ恋につき進んでいく主人公
かず子に「第1回ミス美しい20代コンテスト」審査員特別賞を受賞し、本作が映画初主演
となる宮本菜由が熟演。最後の貴婦人の誇りを持ちながら結核で死んでいく母に水野
真紀。貴族の血に抗いながら破滅する弟直治に期待の若手の一人である奥野壮。太宰
自身を投影した無頼な生活が続ける作家上原には安藤政信が好演。1947年に出版
され「斜陽族」と流行語にもなった「斜陽」執筆から75年の時を経て、世界が目まぐるし
く動き、価値観が変わっていく2022年、退廃から希望を見出す作品が誕生した。

Story

敗戦後の昭和20年、没落貴族となった上、父を失ったかず子とその母、都貴子は本郷西片町の実家を
売って西伊豆で暮らすことになった。そんな折、戦地で行方不明となっていた弟の直治が帰還すると
の知らせが入ると、母は「歳の離れた資産家に嫁いだらどうか」とかず子に話す。激怒したかず子は6年前
の出来事を想いだす。まだ学生だった直治が師匠と仰ぐ作家、上原二郎との出会いである。それはかず
子の一生を変える恋心の目覚めであった。

太宰治と山梨県

太宰治は1909(明治42)年6月19日、青森県北津軽郡金木村(現青森県
五所川原市)で生まれた。1936(昭和11)年最初の短編集「晩年」を刊行
し、1948(昭和23)年の新聞連載小説「グッドバイ」までの10年余りの執
筆期間中で、最も安定した1年間を山梨で過ごしたことはあまり知られてい
ない。毎日家から富士山を眺めることのでき、訪問客に感わされることもな
くこの地で甲府を舞台にした作品など精力的に創作一途に打ち込んだ。



11・4 FRI 全国ロードショー

ムビチケカード10/7(金)より発売! ¥1500 (税込・当日一般¥1900・税込の処)

